

第1版 2025年5月1日

関西医科大学附属病院 眼科 で

未熟児網膜症の治療を受けた患者さんへ

(臨床研究に関する情報)

関西医科大学附属病院眼科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の診療記録等をまとめる研究です。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究について詳しくお知りになりたい時や、研究への参加を希望されない場合は下記の「お問い合わせ先」へご連絡ください。

【研究課題名】未熟児網膜症に関する後ろ向き観察研究

【研究機関】関西医科大学附属病院 眼科

【研究責任者】大庭 慎平（眼科・助教）

【研究の目的】

未熟児網膜症を発症し、治療を要した症例と軽症例の網膜構造の成長過程を比較検討することで、病態の解明や、治療における注意点や治療の適切な実施時期を検討する。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2006年1月1日から2030年12月31日までに当院眼科で未熟児網膜症と診断され、経過観察された患者様

●診療録（カルテ）から利用する情報

年齢、性別、視力、眼圧、病型、出生時週数、体重、治療方法、網膜厚、脈絡膜厚、網膜光凝固術治療の有無と回数、硝子体内注射の有無と回数、硝子体手術の有無と回数を使用します。いずれも通常の診療の際に得られた情報で、この研究のために特別な検査は行いません。

研究期間は2035年12月31日までです。

【個人情報の取り扱いについて】

研究で使用する診療情報は、患者さんの氏名や住所など、患者さんを直接特定できる個人情報を削除します。この研究は当院で集計された後、解析されます。また、研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その際も患者さんを特定できる情報は使用しません。研究が終了した時点で関連するデータは復元不可能な形で廃棄します。

【研究の資金源等、関係機関との関係について】

この研究は、本学の講座研究費で実施しますので、利害の衝突は発生しません。

【参加を希望しない患者さんへ】

この研究に参加を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。あなたに関する研究データを削除します。ただし、学術発表などすでに公開された後のデータなど、患者さんまたはご家族からの撤回の内容に従った措置を講じることが困難となる場合があります。

【問い合わせ先】

〒573-1191

大阪府枚方市新町 2-3-1

関西医科大学附属病院 眼科

大庭 慎平

電話 072-804-0101 FAX 072-804-0131